

抗ヘリコバクター・スイス抗体価測定ELISA

■ 研究者情報

- 研究者名 林原絵美子・松井英則 / 鈴木仁人
- 所属 細菌第二部 / AMRセンター
- 共同研究 北里大学・デンカ株式会社

■ 研究アイデア・技術シーズ

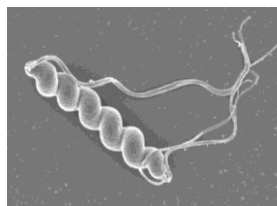
- ヘリコバクター・スイスなどのピロリ菌以外のヘリコバクター属菌 (Non-*H. pylori Helicobacter* species: NHPH)もヒト胃に感染し胃疾患の原因となることが分かってきた
- ヒト胃からのNHPH培養法が近年確立された。
- 培養した菌株を用いてヘリコバクター・スイス感染を検出できる血清中抗体価測定法を開発。
- 開発したELISA法について感度100%、特異度92.6%でヘリコバクター・スイス感染を検出することができる検査法として報告 (Matsui H, Rimbara E et al. *iScience*, 2023)。

■ 背景・解決したい課題

- ヘリコバクター・ピロリ (ピロリ菌) は感染診断法が確立されているが、NHPHはピロリ菌の感染診断法では検出できない。
- NHPHの感染実態は不明な点が多く、内視鏡を行わずに調べることができる検査法があることが望ましい。

■ 研究概要図

ヘリコバクター・スイスについて



ヘリコバクター・スイスの電顕像

- ・ ブタやサルに感染。
- ・ ヒト胃に感染し、胃粘膜関連リンパ組織 (MALT) リンパ腫や胃・十二指腸潰瘍の原因となる
- ・ 本邦のNHPH感染者の中ではヘリコバクター・スイス感染が最も多い。

■ 今後の計画等

- デンカ株式会社により研究用試薬の発売に向けた開発が進められている
- 国内特許取得済 (出願人：感染研・北里大学・デンカ株式会社)